

**4輪トータルホイールアライメント設置
钣金・塗装ならおまかせ下さい**



スタッフ募集!

東田自動車工作所 近畿運輸局長
認証 第6683号
西脇市蒲江268-2 TEL.0795-22-5922

一緒に活動しよう!

あなたの思い・パワー・特技を
事業に活かしてみませんか?

でんく ボランティアスタッフ 募集!

いっしょに頑張ろう!

お問合せ・お申込みはこちら! 西脇市寺内 517-1 (道の駅北はりまエコミュージアム内)
TEL(0795)25-2370 FAX(0795)22-2123
E-mail: ik@k-denku.com URL: www.k-denku.com

例えばこんな活動やっています! 11/20(日) 黒田官兵衛の歴史道
自分たちで企画しました。西脇市内の官兵衛ゆかりの地を訪ね、約10kmのコースを歩くふさと再発見ウォークです。

和味深心

KO 弥介 YASUKE

昼 1,000円~*11時~14時
夜 1,000円~*17時~22時
*料理おさめは21時30分とさせていただきます *予約優先・不定休

秋のおばんざいを色とりどりに。
ほっとする旬の味を盛り合わせ
★ちょこっと おばんざい御膳 1,000円
★しっかり おばんざい御膳 2,000円

☎0795-22-4817
西脇市和布町188-4 (来住邸より南へ800m)

上下水道工事指定店

給排水・衛生設備・設計施工
住宅設備機器販売
プロパンガス・パイプクリーニング

有限会社 藤本商店

〒677-0053 兵庫県西脇市和布町269-9
TEL.0795-22-3850 酒類・米 TEL.0795-22-2944
0120 0120-60-2220

河野好文 木工作品展

10月1日(土)~13日(木)

旧来住家住宅で行われる作品展を紹介いたします。



来住邸 ギャラリー

来住邸お知らせ 検索

11月 墨象書家 小東風彩の世界

川先生のコラボ展示。母屋と蔵に並ぶ書と美術作品の共演をお楽しみに。(か)

11月2日(水)~13日(日)

筆の代わりに播州織の生地を使って書いた作品や、紙の代わりに播州織の布へ書いた前衛的な作品達が展示されます。(p)



小笠原哲郎 二人展

森川桂石 10月15日(土)~30日(日)

西脇高で美術を教える小笠原先生と、以前は西脇高で、現在は社高で書を教える森川先生。二人展を開催いたします。




西脇北高 ボランティア活動写真展

12月14日(水)~25日(日)

西脇北高の生徒たちのボランティア活動の様子を切り取った写真展です。今回は東北震災だけでなく、5月に駆けつけた熊本の震災の写真を展示させていただきます。生徒たちの活動をぜひご覧ください。(め)

募集 ●あなたも来住邸ギャラリーに作品を展示しませんか? ●西脇の歴史・文化・旅をテーマにした「たった弁の話」コーナーへのご寄稿も歓迎です! お気軽にお問い合わせください。(西脇TMO推進室 ☎0795・23・9119)



12月 ローラ・ミッサーと歩んだ日々

ウオルドルフ人形洋装作品展 12月2日(金)~11日(日)

(愛称)による手作りの人形と洋服たちを展示した、親子2代の作品展です。(か)

子供たちのためにウォールドルフ人形作りをはじめ、今では教室を主催されている足立さんと、そのお母さん、ローラ・ミッサーさん。



播州織工房館 七夕ゆかた祭り 7月2日(土)

来住邸お知らせ 検索



Photo File


2016年7月~9月

一部ではありますが、西脇TMOの活動を記録写真でご紹介します。

タイ王国より タラプロン先生が来訪

9月8日(木)

県の教育交流事業としてタイ王国から来られたノンタブリーウィットタヤコム校のタラプロン・プロムコット校長先生を歓迎。来住邸で着物や三味線、お餅つきなどを体験され、「日本文化は大変興味深い」と関心を寄せられました。(は)



梅吉亭で1日シェフに! 西高生シェフ

8月19日(金)・20日(土)

西脇高 生活情報科のみなさんが2日間シェフに! とっても盛況でした。(岸)

夏休み 手織で播州織 8月10日(木) コースターづくり体験講習

卓上手織機でコースターを織る体験学習会が播州織工房館で開かれました。講師は神戸芸術工科大学の渡邊操先生、菊池園先生、野口正孝先生です。(岸)



日野・西脇幼稚園 よい子のお月見会

9月15日(木)

縁側に秋の草と月見団子をお供えて、園児のみなさんとお月見会。北高生による本の読み聞かせがとても上手で子どもたちは聞き入っていました。パネルシアターや腹話術、手品もあって楽しかったね。(岸)



西脇北高からお花をいただきました

8月25日(木) 生徒さんが丹精込めて育てたお花を、いつもありがとうございます。(岸)

「へそ」で繋がる 友好都市 北海道富良野市よりお客様来訪

8月27日(土) 来住邸内をご案内し、おもてなししました。(岸)



第十三話 たった弁の話

大門あんしん野菜生産部会 代表 神月 一良

伝統野菜を守る「土の性」

黒田庄町大門といえは、「サトイモ、生姜、山の芋がおいしいとこやなあ」。うれしいことに、そんなお声を耳にすることが増えてきました。では、大門はそれほど農環境に恵まれた土地なのかというところ、実はその逆なのです。当集落は黒田庄町内で唯一、圃場整備がされておらず、圃場一枚あたりの平均面積は6.1アールと小さい。しかも、門柳の森から流れ来る門柳川と二級河川の加古川が集落内を流れているにも関わらず、昔から水利に乏しかったのです。現在は門柳川の自然水と加古川からの「もらい水」をポンプアップしていますが、水効率・作業効率が非常に悪く、年によっては渇水で水の確保がままならない状況を抱えています。しかし、先人たちは水利や圃場の悪条件を逆手に取って、農作物の基本である土作りや圃場の悪条件を逆に取って、農作物の心を育ててきました。その結果、同一作物を他の地域で作付けしても「同じような品質のものが出来ない」といわれるぐらいに、大門独特の「土の性」を作り上げてきたのではないかと思います。

当集落では現在、全体で10ヘクタール近くある耕作面積を数ブロックに区分して転作物を順次移動させる集団転作の手法、ブロックローテーションに取り組んでいます。生産している水稲品種は、酒造好適米の「山田錦」と、うるち米の「きぬむすめ」。転作物は丹波黒大豆が中心で、伝統野菜の「サトイモ」、「生姜」、「山の芋」なども少量ながら多くの家庭で栽培しています。

その伝統野菜を広く守りPRしようとして、平成20年には生産者6人による「大門あんしん野菜生産部会」を立ち上げ、12品目が兵庫県認証商品「ひょうご安心ブランド」の認定を受けました。

た。以来、新聞、テレビでも取り上げられることが増え、大門の「サトイモ」「山の芋」「生姜」として多くの関心を集めています。今年も新たに「レンコン」も追加認定され、2年前から始めた加工品の粉末生姜も好評です。農業だけで生計を立てることは出来ていませんが、先人から受け継いだ伝統野菜を将来にわたって守り残したいと取り組んでいます。そして、先人から受け継ぐものももうひとつ。農業に対する実直な姿勢です。当集落の主な耕作者の平均年齢は約66歳と高齢で、現役最高齢者は90歳。圃場や水利の事情は先に述べた状況ですが、農作業中は「悔やまない」で作業をしよう、朝の圃場の見回りは、今日も元気で農作業ができる事に感謝し、「おはよう」「早く大きくなれよ」と声をかけ、農作物の日々の成長に喜びを感じて楽しく農業をすることを心がけています。

「大門の野菜が美味しいのは、「土の性」やなあ」と、今後も言われ続けるよう、集落の皆で力を合わせながら土作りを精進し、新しい伝統野菜にも挑戦していきたいと思っています。

粉末生姜のお問い合わせ TEL&FAX 0795-28-2247 (同生産部会)

